

取扱説明書

家庭用 BL認定品

暖房専用熱源機

135-R900型

135-R903型

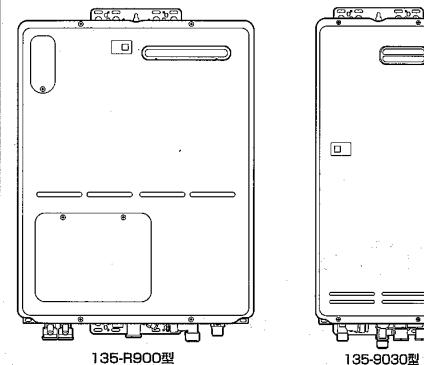
135-9030型

大阪ガス

型 RH-101WA2-1

名 RH-101TA2-1

名 RH-51W



もくじ

ページ

●安全上のご注意 1

●各部のなまえ 5

●はじめてお使いのときは、まず 6

●暖房のしかた 7

●冬期の凍結による破損防止について 9

●長期間使用しない場合は 10

●点検・お手入れのしかた 11

●故障！とお考えになる前に 12

●主な仕様 12

●故障・異常の見分け方と処置方法 13

●アフターサービスについて 14

お問い合わせ先

別添 大阪ガスのお問い合わせ先
をご参照願います。

△危険

ガスくさいときはガス栓を閉め、窓を全開にしてから(火気に注意して)大阪ガスにご連絡ください。

H92-932×01(00)
04.03.(02)



060 00012 57493 7

安全上のご注意

この機器を安全に使用していただくために、下記のことを必ずお守りください。
これらの注意事項は安全に関する重要な内容です。表示と意味は下記の通りです。

表示	意味
△危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
△警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
△注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

上記に述べる傷害、物的損害とはそれぞれ次のようなものをいいます。

傷害：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などをさします。

物的損害：家屋・家財および畜産・ペットにかかる拡大損害をさします。

絵表示については次のような意味があります。



△危険

屋内設置禁止



この機器は屋外用です。
屋内や浴室に設置しないでください。
不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になり大変危険です。

ガス漏れに気付いたら



- ①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉める。
- ②窓や戸を開けてガスを外に出す。
- ③もよりの大阪ガスに連絡する。

ガス漏れに気付いたら下記行為は厳禁



ガス漏れに気付いたときは、大阪ガスの係員による処置が終わるまで上記のことを行わないこと。
炎や火花で引火して爆発事故を起こすことがあります。

△警告

工事は資格必要



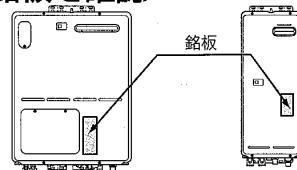
必ず行う

この機器の設置・移動・取はずしおよび付帯工事・ガス接続工事には専門の資格・技術が必要です。工事は必ずお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスに依頼してください。

機器の銘板を確認



必ず行う



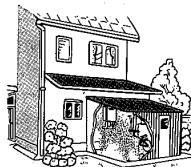
使用する機器が使用するガスの種類(ガスグループ)および使用する電源(AC100V・50/60Hz共用)に適合していることを機器の銘板で確認してください。表示以外の方を使用すると不完全燃焼や爆発点火の原因となります。

※下図は銘板の一例です。



この機器はAC100V(50/60Hz)用です。
AC100V以外の電源電圧では使用できません。

囲い設置禁止



この機器は屋外用ですので、増改築などによって屋内状態にしないでください。また、波板などによって囲いをすることもおやめください。
不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になります。

機器やリモコンの分解は禁止

お客様自身では絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。異常作動してけがの原因となります。



機器の異常に気付いたら

- ①放熱器・暖房機器の運転スイッチを「切」にする。
- ②ガス栓を閉める。



必ず行う

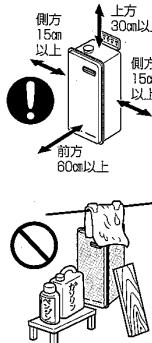
- 使用中に異常な臭気・異常音・異常な温度を感じた場合、使用途中で消火する場合はただちに使用を中止してガス栓を閉め、もよりの大阪ガスにご連絡ください。
- 地震や火災などの緊急の場合もただちに使用を中止し、ガス栓を閉めてください。

| 安全上のご注意

⚠ 警告

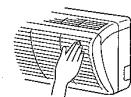
火災予防のために必ず守ること

- 機器周辺の可燃物とは常に右図の離隔距離を確保すること。
- 排気口が洗たく物などでおあわれないようにすること。
- 機器および排気口の周辺には、紙や木材などの燃えやすいものを置かないこと。
- 機器や給・排気口の周囲では、スプレー・ガソリン・ベンジンなどの引火の恐れのあるものを置いたり、使ったりしないこと。
- 機器の周囲や排気筒トップにスプレー缶・カセットこんろ用ポンベなどを置かないこと。熱でスプレー缶内の圧力が上がり、爆発する恐れがあります。



やけど防止のために必ず守ること

- 浴室暖房乾燥機その他の放熱器の温風口はさわらないでください。やけどの危険性があります。



- 使用中や使用直後は排気口やその周辺は高温になっています。やけど防止のため、絶対に手を触れないでください。

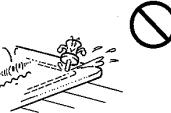


床暖房の破損防止のために

- (詳細は床暖房リモコンの取扱説明書をご覧ください)
- 床暖房の上に電気カーペットをひかないでください。床材の割れ、そり、隙間の原因となります。



- 床暖房の上に鋭利なものを落としたり、刺したりしないでください。温水パイプ破損の原因となります。



電気事故防止のために

- 電源コードを切断して延長しない。電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や火災などの原因となります。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む。差し込みが不完全な場合、感電、発熱による火災の原因になります。痛んだ電源プラグ・緩んだコンセントは使わないでください。
- 電源プラグのほこりなどは定期的に取る。電源プラグにほこりがたまると、漏電などで絶縁不良となり、火災原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 濡れた手でコンセントの抜き差しをしない。感電の原因になります。
- 電源コードを引っ張って電源プラグを抜かない。電源コードを引っ張ると、破損して感電や火災の原因となります。
- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。



低温やけど防止のために

- (詳細は床暖房リモコンの取扱説明書をご覧ください)
床暖房の上で高い温度に設定したまま、長時間座ったり寝そべったりしないでください。低温やけどを起こす心配があります。

特に次のような方が使用する場合は、回りの人が注意してあげることが必要です。

- 乳幼児、お年寄り、病人など自分の意志で体を動かせない方
- 疲労の激しいとき
や深酒をしたとき
- 皮膚の弱い方



⚠ 警告

用途について

- 暖房や乾燥以外の用途には使用しないでください。思わぬ事故や故障の原因となります。



- 機器本体やガスの接続口・排気口などに乗らないこと。けがや、機器の変形によるガス漏れ・不完全燃焼の恐れがあります。



△ 注意

アースの確認

- この機器にはアースが必要です。アースされていることを確認してください。



機器の破損防止のため必ず行うこと

- 冬期に水道水が凍結する恐れがある日は、9・10ページの方法で凍結予防を行ってください。



お願ひ

機器の設置状態についての確認

- 機器は傾いて設置されていませんか？
 - 冷・暖房機や換気扇の吹き出し口や吸い込み口付近は避けてありますか？
正常な燃焼の妨げになることがあります。
 - 棚の下など落下物の危険はありませんか？
 - メンテナンスができない場所に設置されていませんか？メンテナンスをお断りすることがあります。
 - 排気口への積雪や、屋根から落ちた雪で給・排気口が閉塞されることはありませんか？不完全燃焼の原因になります。
 - 雨水を手動で補給する場合は機器上方の補給のための空間を考慮して設置してください。また、機器を設置する高さも補給作業を考慮して設置してください。
- 以上の項目を満足していない場合には、お買い上げの販売店または施工店に連絡し、設置場所を変更してください。

別売部品はこの機器用のもの以外は使用しないでください。事故や故障の原因となります。



井戸水・地下水・温泉水の使用について

- 水質によっては本体内の配管内部に異物が付着し、故障することがあります。その場合は、保証期間内であっても修理は有料となります。

- 燃焼中、ガス栓を操作しての消火はしないでください。また、燃焼中に電源プラグをコンセントから抜いて消火しないでください。



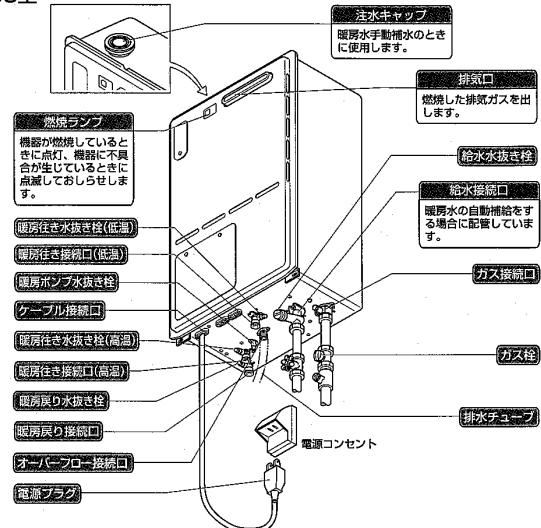
乾電池に関するご注意

- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。
その際、乾電池を使用している機器は、乾電池を取りはずしてから正規の処置をしてください。
そのままにしておきますと、思わぬ事故になることがあります。

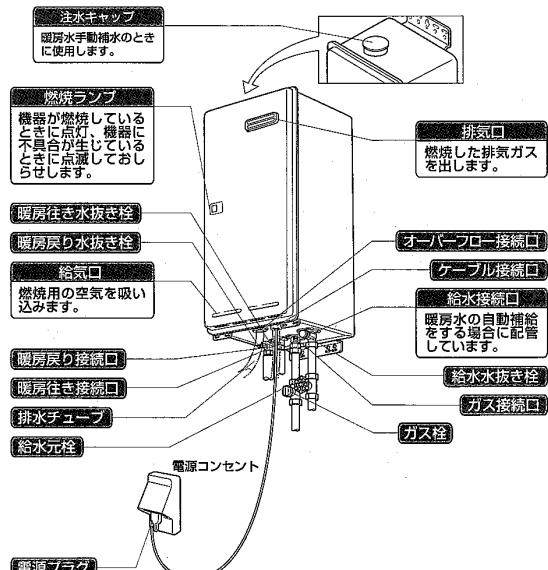
各部のなまえ

※下記イラストは施工例です。

■ 135-R900・R903型



■ 135-9030型



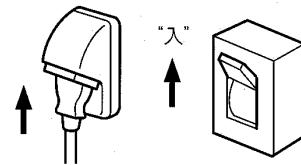
はじめてお使いのときは、まず…

1 電源プラグをコンセントに差し込みます。

(分電盤の専用スイッチを「入」にしてください)

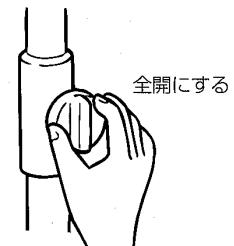


ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電の恐れがあります。



機器付近の壁・分電盤

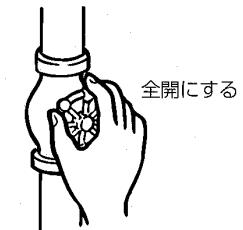
2 ガス栓を全開にします。



全開にする

機器の下部

- 自動補水の場合は給水元栓を全開にします。
- 手動補水の場合は、8ページの“暖房水の手動補給について”に従って補水をしてください。



全開にする

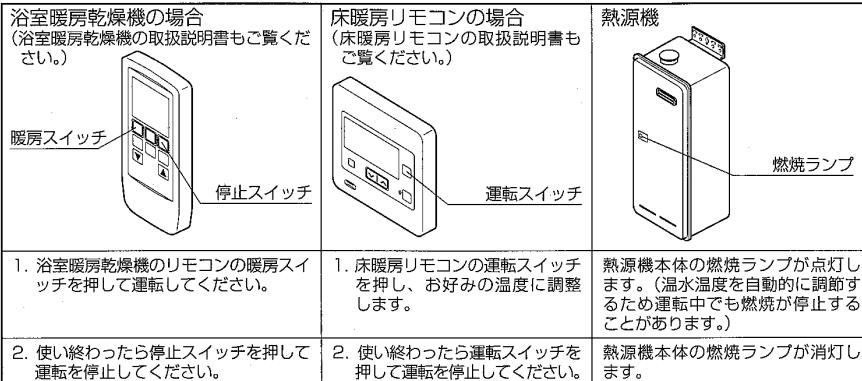
機器の下部

暖房のしかた

放熱器のリモコンや運転スイッチで操作します。

△注意

- 床暖房の上に電気カーペットをひかないでください。床材の割れ・そり・隙間の原因となります。
- 床暖房の上に鋸利なものを落としたり、刺したりしないでください。温水パイプ破損の原因となります。
- 放熱器の温風口にさわらないでください。やけどの危険性があります。
- 床暖房の上で高い温度に設定したまま、長時間、座ったり寝そべっていると低温やけどを起こす心配があります。特に次のような方が使用する場合は、回りの人が注意してあげることが必要です。
 - ・乳幼児・お年寄り・病人など自分の意志で体を動かせない方
 - ・疲労の激しいときや深酒をしたとき
 - ・皮膚の弱い方



- エアコンやファンコンベクターなど、他の放熱器の場合も同様にリモコンの運転スイッチを操作してください。
- 点火しないときは、運転スイッチを一旦「切」にしてから再度「入」してください。

停電・断水・ガスの供給が停止したときは…

停電時 ……運転は停止します。

断水時 ……そのまま使用できますが、暖房车が不足していると安全装置が作動し暖房運転が停止します。暖房车自動補給で断水中に暖房運転が停止した場合は、再通水時に電源プラグを抜き差してください。

暖房车手動補給の場合に、暖房车の不足により暖房運転が停止した場合は、8ページの「暖房车の手動補給について」に従って補給をしてください。(電源プラグの抜き差しは必要ありません)

ガスの供給が停止したとき

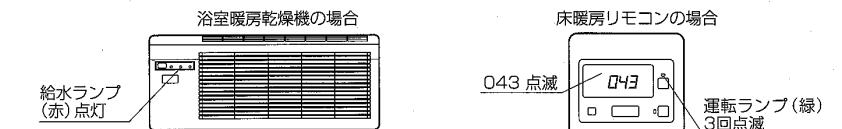
…運転は停止し、ガスの供給が再開されても運転しません。一旦浴室暖房乾燥機や床暖房リモコンの暖房スイッチ、運転スイッチを「切」にし、ガスの供給が再開された後、暖房スイッチ、運転スイッチを「入」にしてください。



お願ひ

暖房车の手動補給について(自動補給の場合は不要です。)

浴室暖房乾燥機または床暖房リモコンのスイッチを入れても運転しない場合、または途中で運転が停止した場合は、暖房车が減っていますので、暖房车の補給をしてください。
(暖房车が減ると、熱源機本体でも燃焼ランプが3回点滅しておらせします)
また、浴室暖房乾燥機や床暖房リモコンでは下記の表示で暖房车が減ったことをおらせします。
(但し機種によっては表示が出ないものがあります。)



- 不凍液使用の有無を確認してください。(9ページ参照)

不凍液を使用している場合 暖房车(不凍液)の補給についてはお買い上げの販売店またはもよりの大坂ガスへご連絡ください。(有償です)
不凍液の濃度管理の点検を依頼してください。(1回/年)

不凍液を使用していない場合 下記に従って暖房车を補給してください。

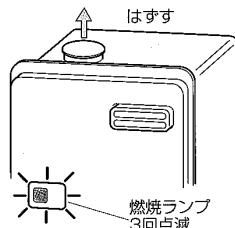
△注意

運転直後はタンク(暖房车)が高温になっていますので、やけど予防のため機器が冷えてから行ってください。

暖房车補給の前に

浴室暖房乾燥機および床暖房リモコンの運転スイッチを切る。

1 注水キャップをはずす



暖房车が高温になっていると蒸気が吹き出しがありますので、冷えてからはずしてください。

2 水を入れる

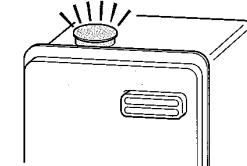
オーバーフローから水が出るまで、やかんなどで水を補給してください。
暖房车を満タンにするため必ずオーバーフローから水が出て入れてください。
燃焼ランプの3回点滅が消灯します。



必ず水道水を使用してください。
井戸水などを使用すると故障の原因になります。

3 注水キャップを取り付ける

手ごたえを感じるまでしっかりとはめ込む。



- 暖房车の補給は4ヶ月に1回程度ですが、乾燥・暖房の使用時間により異なります。
- 水の減りが早かったり急になくなった場合は、水漏れしている可能性があります。
お買い上げの販売店またはもよりの大坂ガスへご連絡ください。

冬期の凍結による破損防止について

- 暖かい地域でお使いのお客様も必ずお読みください。

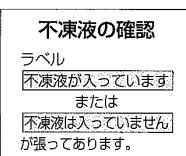
△注意

- 冬期は暖かい地方でも配管中の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。こうした事故を防止するために、冬期は電源プラグを抜かないでください。またガス栓も閉めないでください。
- 不凍液を使用せず長期不在などで電源を切る場合は《水抜き》を行ってください。
- 不凍液を入れる方法もあります。
- 給水配管や給水元栓の凍結予防は保温材を巻いたり、必要に応じて電気ヒータを巻くなどして別途対策してください。
- この機器は、外気温が下がると自動的に燃焼運転を行って、凍結を予防します。
- 電源プラグがコンセントに差し込んであることを確認してください。
- ガス栓・給水元栓が全開になっていることを確認してください。

- 長期間使用しない場合は《水抜き》を行ってください。

《水抜き》の方法（不凍液が入っている場合は不要です）

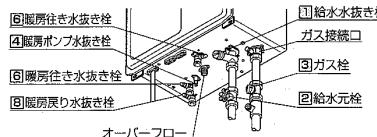
- 不凍液が入っていない場合に、長期間にわたって機器を使用せず電源プラグを抜く（分電盤の専用スイッチを「切」にする）ときは、この《水抜き》を行ってください。また、長期間にわたって機器を使用しないときも、必ずこの《水抜き》を行ってください。
- ※暖房使用後は機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷めてから行ってください。
- ※不凍液が入っている場合は水を抜かないでください。不凍液注入の有無はフロントカバーに張ってあるラベルで分かります。



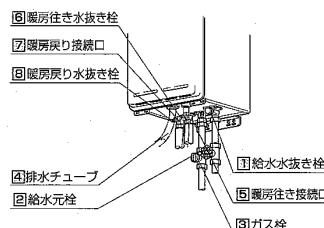
- 電源プラグを抜いてください。（分電盤の専用スイッチを「切」にしてください）
- ガス栓を閉めてください。
- 給水元栓を閉めてください。
- 水抜き栓①・②・③をすべて開けてください。

（注）浴室暖房乾燥機や配管・バルブの凍結予防はできません。

135-R900・R903型



135-9030型



《水抜き》をした機器を、次に使うときは…

- すべての水抜き栓を閉めてください。
 - ②6ページの「はじめてお使いのときは、まず…」に従って熱源機本体の運転準備をしてください。
- ※・暖房水自動補給の場合は、暖房運転を行うと暖房水は自動的に補給されます。自動補水は約2分で止まりますので、放熱器が機器本体より高い位置にある場合や暖房配管の容積が大きい場合は、1回の補水では暖房運転ができないことがあります。この場合は電源プラグを抜き差ししてから再度暖房運転を行ってください。（暖房ができるようになるまでこれを繰り返してください）
- ・暖房水手動補給の場合は8ページの“暖房水の手動補給のしかた”に従って、補給をしてください。

凍結したときの処置

- 万一凍結した場合は使用しないでください。
凍結したままお使いになると、機器本体や配管が破損することがあります。
- 凍結が解けたあと、水漏れがないか確かめてから使用してください。
- 機器本体や配管が破損すると、高額の修理費用がかかる場合があります。（有料）

長期間使用しない場合は

- 旅行など長期間ご使用にならない場合は、次のことを行っておいてください。



| 点検・お手入れのしかた |

点検・お手入れの際は、次のことにご注意ください。

- 安全にお使いいただくために、こまめに点検・お手入れを行ってください。
- お手入れは、必ず・機器が冷めてから・ガス栓を閉め・電源プラグを抜き行ってください。
- フロントカバーなどは決してはずさないでください。

■点検…次のことにご注意ください。

- 運転中に機器から異常音が聞こえませんか？
- 機器の外観に異常は見られませんか？
- 機器のまわりや排気口のそばに燃えやすいものはありませんか？
- 暖房水の漏れはありませんか？
- 機器周辺からガスの臭いはしませんか？
- 機器本体には安全に関する注意ラベルが張ってあります。汚れたり、読めなくなってきたときはやわらかい布などで汚れを拭き取ってください。また、お手入れの際にははがれないようご注意ください。もしさがれたり読めなくなった場合は、新しいラベルに張り替えてください。ラベルについては販売店にお問い合わせください。
- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。

*定期点検を受ける先が不明の場合や、点検費用などについてはお買い上げの販売店またはもよりの大坂ガスへお問い合わせください。

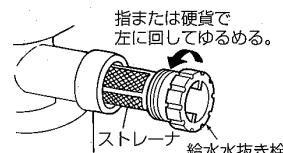
■お手入れ方法は

*機器が冷えていることを確認してから行ってください。

- 機器の表面が汚れたときは、洗剤・ベンジン・シンナーでふいたり、タワシなど固いものでこすらないでください。
- 給水水抜き栓先端のストレーナにゴミなどが付いていると、暖房水が補給できなくなることがあります。こんなときは給水元栓を閉めてから給水水抜き栓をはずして、ストレーナに付いているゴミを取り除いてください。特に近くで水道配管工事などがあったときはご注意ください。

*必ず給水元栓を閉めてから行ってください。

- 機器の給気口（フロントカバーの穴）がほこりやゴミで詰まったまま使用すると、不完全燃焼などの原因となります。給気口のほこりやゴミを十分に取り除いてご使用ください。



| 故障！とお考えになる前に |

故障かな？と思ってよく調べてみると故障ではない場合もあります。
修理を依頼する前に、もう一度次の点をお調べください。

次のことを調べてください

こんなとき		ココをチェック
暖房運転ができない	故障表示が点滅する	運転スイッチを「切」にし、約3秒後、もう一度「入」にしてください。それでも点滅することは故障ですので、お買い上げの販売店またはもよりの大坂ガスへご連絡ください。
	故障表示が点滅しない	ガス栓が全開になっていますか。 給水元栓が全開になっていますか。（暖房水自動補給の場合） 断水していませんか。（暖房水自動補給の場合） 暖房水が不足していませんか。（暖房水手動補給の場合） 電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。 停電していませんか。

こんなときは故障ではありません

こんなとき	理由
寒い日排気口から白煙が出る	外気温が低いときには燃焼排ガス中の水蒸気が白煙に見えますが、故障ではありません。
冬期など寒いとき暖房ポンプが自動的に動く、または燃焼する	凍結による破損防止のため、凍結予防運転を行います。
ときどき（1ヶ月に一度）機器を使用していないのにポンプの回転音（ウーン）がする	暖房回路の空気抜きを行うため、約1ヶ月に一回暖房ポンプが自動的に回転します。異常ではありません。
暖房運転停止後、しばらくファンの回転音がする	暖房運転停止後もしばらく回転しています。

| 主な仕様 |

品名	135-R9030型	135-R900型	135-R903型
型名	RH-51W	RH-101WA2-1	RH-101TA2-1
型式名	RH-51W	RH-101WA2	RH-101TA2
設置方式	屋外壁掛設置		
外形寸法 (mm)	幅250×奥行200×高さ610	幅470×奥行220×高さ600	
質量 (kg)	14	22	
点火方式	AC100V連続放電式(ダイレクト点火)		
接栓	15A(R1/2)オネジ		
給水栓	15A(R1/2)オネジ		
暖房ポンプ(往復・戻り)	QF16ジョイント用綫手		
電源	AC100V		
消費電力	2	2.5	
関係 (50/60Hz)	無負荷時 最大時 過熱予防ヒータ	55/70 110/140 10	12
安全装置	送風検知装置(回転検知方式)凍結予防装置(電気ヒーター+暖房燃焼運転) 炎検出装置(フレームロッド方式)漏電安全装置(漏電遮断器) 過熱防止安全装置(ハイリミットスイッチ、温度ヒューズ) 空気防止装置(水位検査)誘導管保護装置(パリスタ)		

*仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

●能力表 135-R9030型

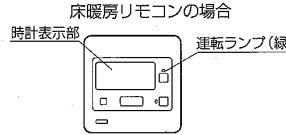
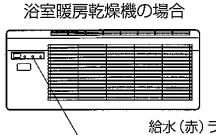
使用ガス	1時間当たりのガス使用量:kW
標準ガスグループ	()内は kcal/h
13A	7.21(6,200)
LPGガス用	7.21(0.52kg/h)

●能力表 135-R900型・135-R903型

使用ガス	1時間当たりのガス使用量:kW
標準ガスグループ	()内は kcal/h
13A	14.5(12,500)
LPGガス用	14.5(1.04kg/h)

| 故障・異常の見分け方と処置方法 |

- 浴室暖房乾燥機の場合は給水ランプ(赤)が点滅または点灯します。
- 床暖房リモコンの場合は時計表示部に下記のような故障表示が点滅します。
(但し機種によっては出ないものもあります。)

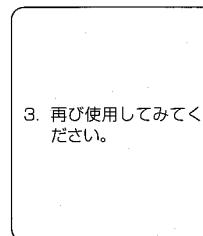
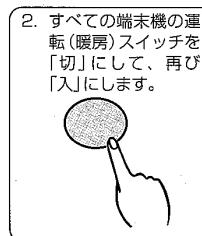


浴室暖房乾燥機	床暖房リモコン	機器本体	内 容
給水ランプ(赤)	運転ランプ(緑)	時計表示部	燃焼ランプ(赤)
点滅	点滅	13	点滅 暖房点火不良
点滅	点滅	140	5回点滅 過熱防止装置、温度ヒューズ作動
点滅	点滅	173	1回点滅 暖房水微少漏れ
点滅	点滅	190	1回点滅 2次回路の地絡
点滅	点滅	313	4回点滅 暖房高温サーミスタ異常
点滅	点滅	433	3回点滅 水位電極理論異常
点滅	点滅	523	2回点滅 ガス比例弁異常
点灯	点滅	543	2回点滅 暖房補給水異常
点滅	点滅	613	1回点滅 暖房燃焼ファン異常
点滅	点滅	710	3回点滅 電装ユニット異常
点滅	点滅	723	2回点滅 暖房擬似炎検知
点滅	点滅	903	4回点滅 ファン初期チェック
点滅	点滅	993	5回点滅 暖房排気閉塞
点滅	点滅	123	点滅 暖房失火
	点滅	※※4	6回点滅 床暖房リモコンエラー
点滅			6回点滅 浴室暖房乾燥機エラー
点灯	点滅	043	3回点滅 暖房水漏水エラー
			6回点滅 暖房寿命予告運転

*※4は端末機の故障表示(※は任意の数字)を示します。

- 端末機側に上記以外のエラーが表示した場合は各端末の取扱説明書をお読みください。

- 故障表示が出た場合は次の操作をしてください。



- 上記の操作をしても故障表示が点滅するときは、お買い上げの販売店またはもよりの大坂ガスに修理を依頼してください。その際は、表示されている故障表示もおしらせください。

| アフターサービスについて |

■アフターサービス(点検・修理など)を依頼される前に

- 12・13ページの「故障」とお考えになる前に「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
- 確認のうえそれでも不具合がある、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、必ずガス栓、給水栓を開め、電源プラグを抜いて(分電盤の専用スイッチを「切」にして)から、お買い求めの販売店またはもよりの大坂ガスにご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。

1. ご住所・お名前・電話番号・道順(付近の目印など)

2. 品名…135-9030型
(品名は機器のフロントカバーに張ってある
銘板の下部に書いてあります)

3. 現象…できるだけ詳しく

4. 訪問ご希望日

(N)135-9030(U)

大阪ガス株式会社

■転居または機器を移設される場合

- ガスには都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区があります。
- ガスの種類、ガスグループの区分が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類、ガスグループの区分を確認のうえ、お買い求めの販売店またはもよりの大坂ガスにご相談ください。ただし、ガスの種類によっては調整できない場合もあります。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事や調整は専門の資格・技術が必要となりますので、必ずお買い求めの販売店またはもよりの大坂ガスにご連絡ください。
- 設備場所の選定にあたっては運転音や振動が大きく伝わらないよう場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にともなう調整や改造に要する費用は、保証期間内でも有料となります。

■保証について

- この機器には保証書がついています。
- 保証書に記載のように、暖房専用熱源機の故障について修理いたします。
詳しくは保証書をごらんください。
- 保証書を紛失されると保証期間内であっても修理費をいただく場合がありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

■修理用性能部品の保有期間について

- 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店またはもよりの大坂ガスにご相談ください。修理によって性能が維持できる場合は有料修理します。
- この機器の修理用性能部品の保有期間は10年です。その後の修理は、修理用性能部品がなくて、修理ができない場合がありますのでご了承ください。ただし、保有期間経過後であっても修理用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

■アフターサービスなどの連絡先

- お買い求めの販売店またはもよりの大坂ガスにご連絡ください。
- 別添の「大阪ガスのお問い合わせ先」を参照してください。